



by HARMAN

JBL ONBEAT™ VENUE LT

取扱説明書

安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

- ⊘ 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
- ⊘ 分解してはいけないことを示す記号です。
- ⊘ 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
- ⊘ 触れてはいけないことを示す記号です。
- ⊘ 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
- ⓘ 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
- ⚡ 電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

警告

- ⓘ ACアダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一の場合、ACアダプタを容易に引き抜くためです。
- ⊘ 付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になることがあります。
- ⊘ 付属品のACアダプタを他の機器に転用しない。火災の原因になることがあります。
- ⊘ 船舶などの直流（DC）電源には接続しない。火災の原因になります。
- ⊘ 電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。
- ⊘ 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。
- ⓘ 電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社東京サービスセンターに交換（有償）を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- ⊘ タコ足配線しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- ⊘ テーブルタップ（延長コード）を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- ⊘ 雷が鳴りはじめたら、電源アダプタには触れない。感電の原因になります。
- ⊘ 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- ⚡ 煙が出る場合、異常なおいや音が出る場合は、すぐに電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社東京サービスセンターに修理を依頼してください。
- ⊘ 水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気が多い場所では使用しない。火災・感電の原因になります。
- ⓘ 本機の内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- ⊘ 本機の内部に異物を入れない。万一、本機の内部に異物が入った場合は、本機の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- ⊘ アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- ⊘ 分解や改造をしない。感電の原因になります。
- ⊘ 調理台や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所に設置しない。火災・感電の原因になることがあります。
- ⊘ 直射日光が当たる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）に設置しない。キャビネットや内部回路に悪影響が生じ、火災の原因になることがあります。
- ⓘ オーディオ機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用して接続する。指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になることがあります。
- ⊘ 音が歪んだ状態で長時間使用しない。スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

注意

- ⊘ 濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。
- ⊘ 長期間本機を使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。
- ⊘ ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。
- ⓘ ACアダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。ACアダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。
- ⊘ ほこりや湿気が多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。
- ⊘ 不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因となります。
- ⚡ 移動するときは電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- ⊘ 薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレスフォンなど）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができなくなる場合があります。

- 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

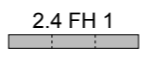
電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約10mです。



この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社東京サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社東京サービスセンターへお問い合わせ下さい。

本機の特長

- ◆ **Lightning コネクタ搭載**
Lightning コネクタ装備のiOSデバイスを接続しての充電・再生が可能。音声もデジタル伝送なので高音質再生をお楽しみいただけます。
- ◆ **Bluetooth 2.1+EDR 準拠、A2DP プロファイル対応**
Bluetooth対応のスマートフォンやオーディオプレーヤー、パソコンと簡単PINコード自動入力でのペアリングなので、簡単にワイヤレスで高音質ステレオ再生を楽しむことができます。プロファイルはA2DP、AVRCPに対応。ペアリングしたソース機器から音量をリモートコントロールすることも可能です。
- ◆ **クラスを超えた本格2ウェイスピーカースystem**
75mm径ウーファー+38mm径ドームツイーターによる本格2wayスピーカースystemを、余裕のハイパワー総合30Wのデジタルアンプでドライブ。ワイドレンジでクオリティの高いHi-Fiサウンドをお楽しみいただけます。
- ◆ **スリップストリーム・ポートテクノロジー**
最大限のパスレフポート効果を引き出す、独自の「スリップストリーム・ポート・テクノロジー」を採用。サイズを超えたパワフルな低音再生を可能にします。
- ◆ **AAC コーディング対応**
Bluetoothでの伝送方式を従来のSBCに加え、AACコーディングにも対応。iOS4.3.1以降のiPhoneやiPad、iPod Touchであれば更なる高音質ワイヤレス再生が可能です。
- ◆ **2つのEQプリセットパターン（BASS & MOVIE）**
ダンスミュージック再生時など、低音を強調させたい時に最適な「BASS」モードと映画などのセリフを際立たせて聞き取りやすくしてくれる「MOVIE」モードを搭載。

- ◆ **専用iOSデバイス用アプリ「JBL MusicFlow」**
直感的なプレイリストの作成を可能にする機能、そして5種類のプリセットパターンのEQ機能により、お好みの曲順とサウンドで音楽を楽しむことができる専用iOSアプリ「JBL MusicFlow」をご用意致しました。AppStoreからインストールしてお使いください。
- ◆ **外部入力端子装備**
3.5mmステレオミニ端子の外部入力を装備。市販のオーディオケーブルを使用すれば、パソコンやポータブルプレーヤーなども接続できます。



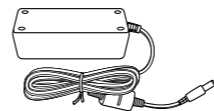
Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。



- 「Made for iPod」、「Made for iPhone」および「Made for iPad」とは、iPod、iPhoneおよびiPad専用接続用設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示しています。
- iPod、iPadおよびApp Storeは、米国およびその他の国々登録されたApple Inc.の商標です。
- iPhoneはApple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- JBL、JBL MusicFlowは米国およびその他の国々におけるHarman International Industries, Incorporatedの登録商標です。

付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。



□ ACアダプタ

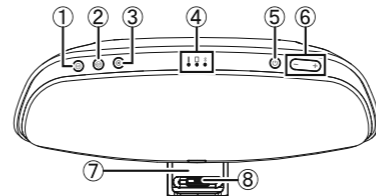


□ 電源ケーブル

- 日本語取扱説明書（本紙）
- 多言語取扱説明書
- 保証書（日本国内用）

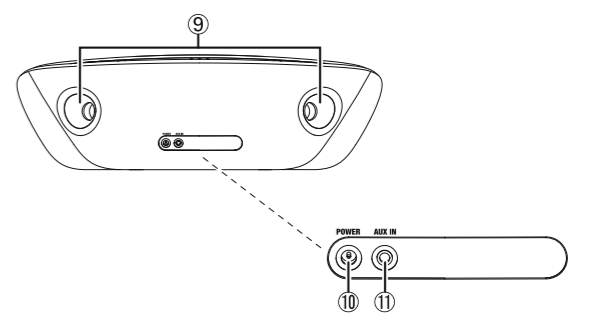
各部の名称とはたらき

▶ 本体上面



- ① BASS（低音ブースト）ボタン
- ② MOVIE（ムービー）ボタン
- ③ ソースボタン
- ④ ソースインジケーター
選択されているソースのインジケーターが点灯します。
- ⑤ 電源ボタン
- ⑥ 音量（+ / -）ボタン
- ⑦ ドッキングスライド
JBLのロゴ部分を押しすと、Lightningコネクタが引き出されます。Lightningコネクタにデバイスを接続していないときは、ドッキングスライドを閉じてください。
- ⑧ Lightningコネクタ

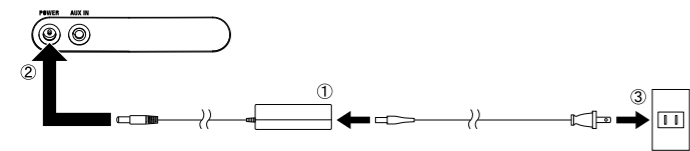
▶ 本体背面



- ⑨ 低音ポート
低音を強化するエネルギーが出力されます。重厚な低音を楽しむため、本体背面を壁から8～10cm程度離して設置してください。
- ⑩ POWER（ACアダプタ接続）端子
- ⑪ AUX IN（オーディオ入力）端子

ご使用前の準備

▶ AC アダプタを接続する



- ① AC アダプタに電源ケーブルを接続する。
- ② AC アダプタのプラグを本体背面の POWER 端子に接続する。
- ③ 電源ケーブルのプラグを壁面のコンセントに接続する。
本機は国内外でお使いいただけます。海外でご使用の際は、お使いになる国のコンセントに合った変換プラグ（市販）が必要になります。

基本操作

▶ 電源を入れる / スタンバイモードにする

電源ボタンを押して、オン / スタンバイを切り換えます。スタンバイモードのときに電源ボタンを押すと、電源がオンになります。電源がオンのときは、電源ボタンのマークが白く点灯し、スタンバイのときは赤く点灯します。本機がスタンバイモードになると、Lightning 接続した iPhone/iPod/iPad もスタンバイモードになります。

自動スタンバイモードについて

本機の電源がオンのとき、音声入力がなく、操作も行われない状態が 10 分間続くと、自動的にスタンバイモードになります。

音量を調節する

音量 (+ / -) ボタンを押す。
+ ボタンと - ボタンを同時に押すと、ミュート (消音状態) になり、ソースインジケータが点滅します。
解除するには、+ / - いずれかのボタンを押します。

▶ ソースを切り換える

ソースボタンを繰り返し押す。
押すごとに外部入力 (📶) → iPhone/iPod/iPad (📱) → Bluetooth (📶) の順にソースが切り換わり、選択されているソースのインジケータが点灯します。

ヒント

Lightning 接続したデバイスの音声再生中に、ペアリング済みのデバイスを本機で認識すると、ソースが Bluetooth に切り換わり、Bluetooth 再生が始まります。
また、Bluetooth 再生中に Lightning コネクタにデバイスを接続すると、ソースが Lightning に切り換わります。

EQ プリセットモードを使用する

本機の MOVIE (ムービー) ボタン、BASS (低音ブースト) ボタンを押して、オン / オフを切り換えます。
低音ブーストをオンにすると低音が強調され、ムービーをオンにすると映画などのセリフを際立たせた音声になります。
ムービー、低音ブーストを両方オンにしてお使いいただくこともできます。

iPhone・iPod・iPad の音声を聞く

▶ Lightning コネクタに接続する

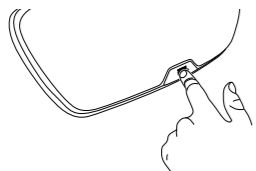
Lightning コネクタを装備した iPhone/iPod/iPad を接続できます。
※ 30 ピン Dock コネクタを装備した iPhone/iPod/iPad は、本機の Lightning ドックに接続することはできません。Bluetooth 接続でお使いください。

はじめに

iPhone/iPod をお使いの場合、本機に接続する前に、「シェイクでシャッフル」機能を「オフ」にすることを勧めます。

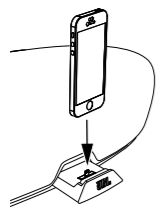
① Lightning コネクタを引き出す。

本機正面の JBL ログ部分を押し、ドッキングスライドを開き、Lightning コネクタを引き出します。
接続が不安定になる恐れがありますので、ドッキングスライドは最後までしっかり引き出してください。



② Lightning コネクタに iPhone/iPod/iPad をしっかりと差し込む。

本機がスタンバイモードのときに iPhone/iPod/iPad を接続すると、本機の電源が自動的にオンになり、ソースが iPhone/iPod/iPad (📱) に切り換わります。



本機の Lightning コネクタは可動式になっています。iPhone/iPod/iPad を差し込んだあとは、本機の前面のクッション部に iPhone/iPod/iPad の背面が触れるまで、iPhone/iPod/iPad を寝かせて設置してください。
また、Lightning コネクタ破損や接続不良の原因になりますので、次の点にご注意ください。
・接続の際に無理な力を加えたり、斜めに差し込まない。
・Lightning コネクタに iPhone/iPod/iPad を接続したまま本機を移動したり、ケーブルの抜き差しを行わない。
・iPhone/iPod/iPad にカバーやジャケットを装着したまま接続しない。

初めて iPhone/iPod/iPad を接続すると、アプリケーションがインストールされていないことについてのメッセージが表示されます。アプリケーション (JBL MusicFlow) のダウンロード / インストールについては「アプリケーション (JBL MusicFlow) をインストールする」をご覧ください。
本機はアプリケーション (JBL MusicFlow) をインストールしなくてもお使いいただけます。
iPhone/iPod/iPad を Lightning コネクタに接続すると、iPhone/iPod/iPad が充電されます。

③ iPhone/iPod/iPad 上で音声を再生する。

「JBL MusicFlow」をお使いの場合は、MusicFlow を起動して再生を始めてください。
音声が再生されない場合は再度接続し直し、デバイス上の再生ボタンで再生を始めてください。

ヒント

30 ピン Dock コネクタを装備した iPhone/iPod/iPad の音声をお聞きになりたい場合は、Bluetooth で接続してください。接続方法については「Bluetooth 機器の音声を聞く」をご覧ください。

Bluetooth 機器の音声を聞く

本機の Bluetooth 機能を使って iPhone/iPod/iPad や Bluetooth に対応したオーディオ機器と接続すると、音声をワイヤレスでストリーミング再生することが可能です。

▶ ペアリングを行う

Bluetooth 機能を使ってストリーミング再生を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応機器を認識させる「ペアリング」が必要となります。本機と機器を一度ペアリングすれば、その後に再度ペアリングを行う必要はありません。
ただし、別の機器とペアリングを行った場合は、その機器と接続されている状態のため、接続を解除し、前の機器と再びペアリングを行う必要があります。

iPhone/iPod/iPad でペアリングを行う

- ① 電源ボタンを押して電源を入れる。
- ② ソースボタンを押して、ソースを Bluetooth (📶) に切り換える。Bluetooth (📶) インジケータが点滅し、ペアリング設定状態になります。Bluetooth (📶) インジケータが点灯しているときは、機器とペアリングされている状態を表しますので、新たにペアリングを行う必要はありません。
- ③ iPhone/iPod/iPad を、ペアリング設定状態にする。「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。Bluetooth に接続できる機器の一覧が表示されます。
- ④ デバイスから「JBL OnBeat Venue LT」を選択します。「接続されました」と表示されたらペアリングが完了し、本機の Bluetooth (📶) インジケータが点滅表示から点灯に変わります。本機がスタンバイモードのときに Bluetooth 接続されたデバイスでオーディオ再生を始めると、本機の電源がオンになります。

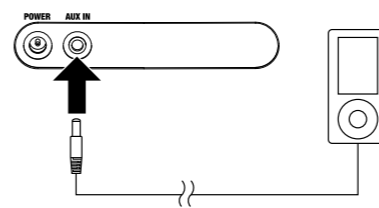
その他の機器でペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- ① 電源ボタンを押して電源を入れる。
- ② ソースボタンを押して、ソースを Bluetooth (📶) に切り換える。Bluetooth (📶) インジケータが点滅し、ペアリング設定状態になります。Bluetooth (📶) インジケータが点灯しているときは、機器とペアリングされている状態を表しますので、新たにペアリングを行う必要はありません。

その他のオーディオ機器の音楽を聞く

市販の 3.5mm ステレオミニプラグ付きオーディオケーブルを使ってお手持ちのオーディオ機器・PC に接続し、音声を再生することができます。



- ③ 相手側機器を、ペアリング設定状態にする。接続する機器側で、本機を検出可能な状態に設定します。バスキーが必要な場合は「0000」と入力します。一部の機器では、接続を確認するメッセージが表示されます。ペアリングが完了すると、本機の Bluetooth (📶) インジケータが点滅表示から点灯に変わります。

別の機器をペアリングするには

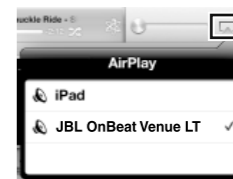
Bluetooth (📶) インジケータが点滅表示されるまで、本機のソースボタンを押し続けます。または、ペアリングしている機器の Bluetooth をオフにします。
別の相手側機器をペアリング設定状態にし、ペアリングを行ってください。

▶ Bluetooth 再生を行う

Bluetooth 再生を行うには、ペアリングを行ったあと本機を再生機器として設定する必要があります。

iPhone/iPod/iPad で設定する

- ① 音楽再生時に、📶 アイコンをタップする。



- ② 「JBL OnBeat Venue LT」をタップする。iPhone/iPod で「JBL MusicFlow」をお使いの場合は、アプリケーション上で切り換えることもできます。

その他の機器で設定する

▷ 接続した機器で再生を始める。
接続する機器によって再生の手順は異なります。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- ① 3.5mm ステレオミニプラグ付きケーブル (市販) を使って、オーディオ機器・PC の音声出力端子と本機の AUX IN (オーディオ入力) 端子に接続する。
- ② ソースボタンを押し、ソースを外部入力 (📶) に切り換える。
- ③ オーディオ機器または PC で音声を再生する。

JBL MusicFlow について

▶ アプリケーション (JBL MusicFlow) をインストールする

本機はアプリケーション (JBL MusicFlow) をインストールしなくてもお使いいただけますが、アプリケーションと組み合わせて使用することにより、曲順とサウンドをカスタマイズして音楽をお楽しみいただけます。

初めてお使いになる場合は、まずアプリケーションをダウンロード/インストールしてください。

- ① 本機の Lightning コネクタに iPhone・iPod・iPad を差し込む。初めて接続した場合、iPhone/iPod/iPad の画面に以下のメッセージが表示されます。

App がインストールされていません
このアクセサリを使用するために必要な App がインストールされていません。
App Store から App をインストールしますか？

- ② メッセージが表示されたら、「はい」をタップする。
App Store が起動し、ダウンロード画面が表示されます。
App Store が起動しなかったり、サイトが表示されない場合は、App Store の「検索」画面で「JBL MusicFlow」と入力し検索してください。
- ③ 「APP をインストール」をタップして、アプリケーションをダウンロード/インストールする。
Apple ID、パスワードを入力してアプリケーションのダウンロード/インストールを行ってください。
JBL MusicFlow のダウンロードは無料*です。
* ただし、アプリのダウンロードの際の通信料は、お客様の負担となります。

▶ JBL MusicFlow の表示画面と各種設定

iPad での表示例



iPhone/iPod の表示例 (再生時)



① 再生操作アイコン

- ▶ : 再生を開始
- || : 再生を一時停止
- ▶▶ : 次の曲にスキップ (iPad/iPad mini のみ)
- ◀◀ : 前の曲にスキップ (iPad/iPad mini のみ)

- ② EQ アイコン
EQ モードを使って、再生する音声に適した音質を選ぶことができます。詳しくは「EQ モードを使用する」をご覧ください。

- ③ 再生モードアイコン
🔄 : アルバム内の曲を繰り返し再生します。
🔄 : 1 曲を繰り返し再生します。
🔄 : アルバム内の曲をシャッフル再生します。

- ④ JBL アイコン
JBL のウェブサイトへの接続、ファームウェアのアップデート情報の確認や操作のヒントを表示します。(英語)

- ⑤ キューエリア (iPad/iPad mini のみ)
曲やアルバムをこのエリアにドラッグして、プレイリストを作成します。プレイリストが作成されているときは、アルバムのジャケットがこのエリアに表示されます。

- ⑥ 🔄 アイコン (iPhone/iPod のみ)
音声を本機で再生するか、デバイス上で再生するか選びます。

▶ EQ モードを使用する

再生する音声に適した音質を選ぶことができます。最良の音質を得るため、iPhone/iPod/iPad の「イコライザ」設定を「オフ」にすることをお勧めします。

EQ モードは、本機と Lightning 接続または Bluetooth 接続し、MusicFlow を使って音声を再生しているときのみお使いいただけます。

- ① EQ アイコン (🔊) をタップする。
- ② お好みのアイコンをタップする。
BASIC : 高音・低音のバランスが取れた音質になります。
MOVIE : セリフを際立たせた音質になります。映画やビデオ再生に適しています。
JAZZ : 高音が強調された音質になります。ジャズなどの音楽再生に適しています。
ROCK : 低音が強調された音質になります。ロックなどの音楽再生に適しています。
GAMING : ゲーム音声の再生に適した音質になります。

▶ iPad/iPad mini でプレイリストを使用する

プレイリストを作成して曲を再生する

JBL MusicFlow で曲を再生するには、まずプレイリストを作成する必要があります。

作成したプレイリストは保存することができます。

- ① 「MusicFlow」をタップしてアプリケーションを開く。
- ② 聞きたい曲やアルバムをタップし、キューエリアにドラッグする。曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンルや、曲名・アルバム名を検索して、追加したい曲やアルバムを選びます。
曲名表示のときは、曲名の右側にある⊕をタップして、プレイリストに追加することもできます。
- ③ すべて追加し終わったら、「▶」アイコンをタップする。
再生が始まります。

プレイリストを保存する

作成したプレイリストを保存したいときは、以下の手順を行います。

- ① キューエリアのアルバム・プレイリストのジャケット以外の部分をタップする。
- ② キューエリア左側に表示される「☰」をタップする。
- ③ 「Save Playlist」をタップする。



JBL MusicFlow について (続き)

- ④ プレイリストの名前を入力する。
- ⑤ プレイリストのジャケットに使う写真を選ぶ。
デバイスに保存してある写真を選ぶ場合は「Camera Roll」、新たに写真を撮りたい場合は「Take Picture」を選びます。プレイリストのジャケットは、CD のジャケット調の表示になりますので、写真は正方形に近い形にトリミングされます。

「Camera Roll」を選んだとき

- 1 使いたい写真をタップする。
- 2 写真をドラッグして、表示させたい位置に調整する。
ピンチイン・ピンチアウトして、写真を縮小・拡大することもできます。
- 3 右上の「Use」をタップする。

「Take Picture」を選んだとき

- 1 カメラが起動します。
- 2 写真を撮る。
- 3 写真をドラッグして、表示させたい位置に調整する。
ピンチイン・ピンチアウトして、写真を縮小・拡大することもできます。
- 4 右上の「Use」をタップする。

- ⑥ 「Save」をタップする。

キューエリアにある曲を削除する

- ① キューエリアのアルバム・プレイリストのジャケット以外の部分をタップする。
- ② キューエリア左側に表示される「☰」をタップする。
- ③ 「Clear Queue」をタップする。
キューエリアにあるすべての曲が削除されます。

プレイリストから曲を削除する

- ① キューエリア上で、削除したい曲を選ぶ。
削除したい曲をタップしたままにすると、キューエリアの左側に「🗑️」が表示されます。
- ② そのまま左側にドラッグして曲を削除する。

プレイリストを削除する

- ① 画面下部の「Playlist」をタップする。
- ② 削除したいプレイリストを選ぶ。
削除したいプレイリストに指を置いたままにすると、画面下部に「🗑️」が表示されます。
- ③ そのまま下にドラッグしてプレイリストを削除する。

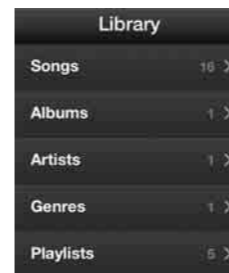
▶ iPhone/iPod でプレイリストを使用する

プレイリストを作成して曲を再生する

JBL MusicFlow で曲を再生するには、まずプレイリストを作成する必要があります。

作成したプレイリストは、保存することができます。

- ① 「MusicFlow」をタップしてアプリケーションを開く。
- ② 画面を右から左にフリックする。
「Library」画面が表示されます。



- ③ 聞きたい曲を選ぶ。
曲名の一覧から選びます。
「Songs」をタップすると、曲名の一覧が表示されます。
「Albums(アルバム)」、「Artists(アーティスト)」、「Genres(ジャンル)」、「Playlist(プレイリスト)」をタップするとアルバム名、アーティスト名、ジャンル、プレイリスト名が一覧表示されます。
聞きたい曲名をタップしたままにすると、曲がプレイリストに追加されます。曲名の右側にある⊕をタップして、プレイリストに登録することもできます。

曲を上下にドラッグすると、曲を並べ替えることもできます。

曲名を検索したい場合

「Songs」、「Albums」、「Artists」、「Genres」、「Playlist」をタップしたあと、一覧表示部分を下にフリックすると、検索画面が表示されます。「Search」の部分の部分をタップして検索してください。

プレイリストに曲が追加されると、最初に追加した曲の再生が始まります。

再生中に何も操作していない状態で 30 秒間続けると、アルバム・プレイリストのジャケットがフル画面表示されます。曲名の一覧に戻したい場合は、画面下部のアイコンが表示されているエリアを上フリックします。

プレイリストを保存する

作成したプレイリストを保存したいときは、以下の手順を行います。

- ① 曲名一覧表示にする。
アルバム・プレイリストのジャケットがフル画面表示されているときは、画面下部のアイコンが表示されているエリアを上フリックして、曲名一覧画面に切り換えます。
- ② 曲名の部分を下にフリックする。
プレイリスト編集メニューが表示されます。



- ③ 「Save」をタップする。
- ④ プレイリストの名前を入力する。
入力を中止したい場合は、「Cancel」をタップします。
- ⑤ 「Save」をタップする。
プレイリストが保存されます。

JBL MusicFlow について (続き)

プレイリストから曲を削除する。

- ① 曲名一覧表示にする。
アルバム・プレイリストのジャケットがフル画面表示されているときは、画面下部のアイコンが表示されているエリアを上フリックして、曲名一覧画面に切り換えます。
- ② 削除したい曲名をタップしたまま、右にフリックする。
曲が削除されます。

プレイリストを削除する

- ① 曲名一覧表示にする。
アルバム・プレイリストのジャケットがフル画面表示されているときは、画面下部のアイコンが表示されているエリアを上フリックして、曲名一覧画面に切り換えます。
- ② 曲名の部分を下にフリックする。
プレイリスト編集メニューが表示されます。
- ③ 「Clear」をタップする。
プレイリストの曲がすべて削除されます。

▶ JBL MusicFlow のその他の操作

再生中の曲・アルバムのジャケットをフル画面表示にする (iPad/iPad mini のみ)

キュー・エリアに表示されている再生中の曲、アルバムをピンチアウトすると、アルバム・プレイリストのジャケットがフル画面表示されます。元の表示に戻したいときは、画面をピンチインします。

キューエリアの左側に表示されるアイコンについて (iPad/iPad mini のみ)

キューエリアのアルバム・プレイリストのジャケット以外の部分をタップすると、キューエリアの左側に3つのアイコンが表示されます。

- をタップすると、アルバムのジャケットが拡大表示されます。
- をタップすると、再生中のアルバムがキューエリアの先頭に表示されます。

- をタップすると、プレイリストの保存・削除画面が表示されます。

アルバム・フローモード (iPad/iPad mini のみ)

キューエリアに表示されているアルバムのジャケットをピンチインするとアルバム・フローモードになります。

指で弾くようにスライドさせて、聞きたいアルバムを選ぶことができます。

アルバム・フローモードを解除するには、キューエリア上でピンチアウトします。

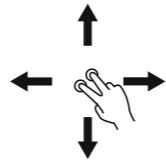
プレイリスト編集メニュー (iPhone/iPod のみ)

曲名一覧表示のときに曲名の部分を下にフリックすると、プレイリスト編集メニューが表示されます。

- 「Save」をタップすると、プレイリスト保存画面が表示されます。
- 「Clear」をタップすると、現在のプレイリストが消去されます。
- 「Playing」をタップすると、再生中の曲がリストの一番上に表示されます。

ジェスチャー・モード

アルバム・プレイリストのジャケットがフル画面表示されているときに iPad/iPad mini では指2本、iPhone/iPod の場合指1本で画面をフリックすると、音量調整や曲のスキップ・頭出しを行います。



- 上にフリックすると、音量が上がります。
- 下にフリックすると、音量が下がります。
- 左へフリックすると、次の曲へスキップします。
- 右へフリックすると、前の曲の頭出しをします。

▶ ファームウェアをアップデートする

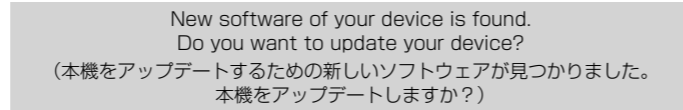
本機のファームウェアは、Lightning 接続している iPhone/iPod/iPad にインストールされている JBL MusicFlow からアップデートすることができます。ファームウェアをアップデートする際は、以下の点にご注意ください。

- アップデートは必ず iPhone/iPod/iPad を Lightning 接続した状態で行ってください。
- 通信が安定している状態で行ってください。
- アップデート実行中は、絶対に本機の電源をオフにしないでください。ファームウェアのアップデート中に電源をオフにすると、本機が正常に起動しなくなる恐れがあります。

- ① JBL MusicFlow 画面の「JBL」アイコンをタップする。
- ② 「About」をタップする。
- ③ 「Firmware Upgrade」をタップする。
下記が表示された場合、ファームウェアは最新ですのでアップデートの必要はありません。



下記が表示された場合、最新のファームウェアにアップデートできます。



アップデートしたい場合は「Yes」、前の画面に戻りたいときは「No」をタップします。

「Yes」をタップすると、最新のファームウェアがダウンロードされ、本機がアップデートされます。

アップデート中は、本機のディスプレイで「upg」が点滅し、アップデートが完了すると時計表示に戻ります。

最後に、iPhone/iPod/iPad 画面の「OK」をタップして、アップデートを終了します。

対応する iPhone・iPod・iPad について

本機の Lightning 接続に対応している iPhone、iPod、iPad は次のとおりです。(2012年11月現在)

- iPhone5
- iPod touch (第5世代)
- iPad (第4世代)
- iPod nano (第7世代)
- iPad mini

• ご注意

- iPod/iPhone/iPad によっては、すべての機能がお使いいただけない場合があります。
- 最新の対応状況については、弊社ホームページに掲載いたします。また、サポート情報はメールなどでもご案内いたしますので、オンラインご愛用者登録をおすすめいたします。

- iPhone・iPod・iPad のファームウェアアップデートによって、現在お使いいただける機能の一部が制限される可能性があります。

トラブルシューティング

原因	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	ACアダプタが正しく接続されていることをご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	iPhone/iPod/iPad を Lightning 接続している場合、Lightning コネクタの根元まで接続されているかご確認ください。 Bluetooth を使用している場合は、お手持ちの機器で正しく設定されていることをご確認ください。 AUX IN (オーディオ入力) 端子にオーディオ機器・PC を接続している場合、音量をご確認ください。 iPhone/iPod/iPad の再生が一時停止になっていないかご確認ください。 音声ミュートされていないかご確認ください。 音量を上げてください。
音が歪む。	音量が上がりすぎている場合は音量を下げてください。
ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。 別の機器と接続していないかどうかご確認ください。別の機器と接続しているときは、Bluetooth インジケータが点灯します。ペアリングを行うためには、Bluetooth インジケータが点滅している必要があります。

主な仕様

定格出力	15 W × 2
Bluetooth	Bluetooth2.1+EDR
システム周波数特性	20Hz ~ 20kHz
対応プロファイル	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) (AAC コーディング対応)
周波数	2.400GHz ~ 2.4835GHz
周波数変調方式	FHSS (周波数拡散方式)
伝送距離	Class 2 最大半径約 10m (障害なきこと)
音声入出力	Bluetooth × 1 Lightning コネクタ × 1 外部入力 (3.5 mm ステレオミニジャック) × 1
使用ユニット	ウーファー: 75 mm 径ドライバー × 2 ツイーター: 38 mm 径ドライバー × 2
電源	AC アダプタ (100V ~ 240V (50Hz/60Hz))
サイズ	幅 415 mm × 奥行 138 mm × 高さ 138 mm
質量	2.25 kg

*仕様および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

▶ オンラインご愛用者登録のご案内

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。弊社では JBL 製品のご購入者を対象に、ホームページ上にてオンラインご愛用者登録を行っております。ご登録いただいたお客様には、サポート情報やキャンペーン情報、新製品情報など JBL 製品の最新情報をお送りいたします。

▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://www.harman-japan.co.jp/>

HARMAN

ハーマンインターナショナル 株式会社

© 2012 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.